

県民割の全国拡大「足元の感染状況考慮」 官房副長官

2022/7/6 日本経済新聞



日本人観光客の賑わう忍野八海

木原誠二官房副長官は6日の記者会見で旅行支援策「県民割」の全国拡大について新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて判断する考えを示した。「足元の状況は当然考慮しなければならない」と言及した。

政府は6月の感染状況を見極め、改善が確認できれば7月前半に開始すると説明してきた。

「新規感染者数、病床使用率、療養者数、死亡者数などの動向を含めて引き続き総合的に見極めた上で7月前半に適切に判断する」と強調した。

新たな感染者数について「全国的に上昇傾向に転じている」と指摘した。「感染者数の増加も懸念される。医療提供体制の影響も含めて注視する」と語った。

県民割拡大の旅行支援「感染状況を見極め判断」 国交相

2022年7月5日 13:10 日本経済新聞

斉藤鉄夫国土交通相は5日の閣議後の記者会見で、7月前半の開始を目指す旅行支援策「県民割」の拡大版「全国旅行支援」について「(新型コロナウイルスの)感染状況を総合的に見極めた上でタイミングなどを判断する」と述べた。現在の県民割は14日宿泊分までが期限で、政府は15日以降に全国一律の支援策の全国旅行支援に切り替える方向で検討している。

ただ、東京都では4日までの直近1週間平均の新規感染者は3380人で、前週の162.4%に増加している。旅行支援策を拡充することで感染拡大につながらないように慎重に判断する。斉藤氏は足元の感染状況について「厚生労働省の専門家会議では、大都市は短期的に新規感染者数の増加が見込まれるとの評価だ」と説明。専門家らの分析を踏まえ、慎重に拡充時期を決める考えを示した。